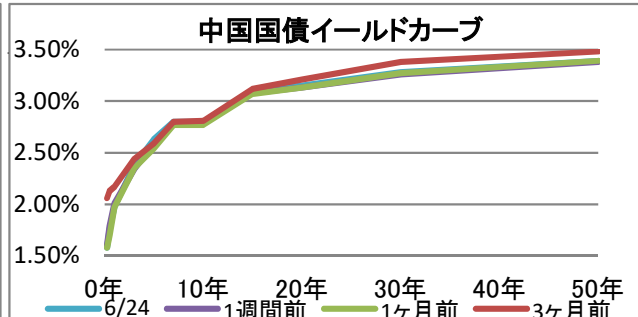
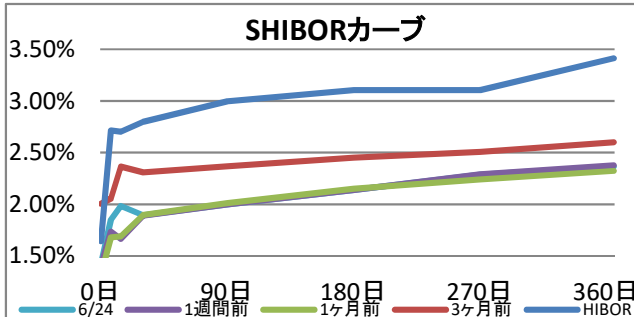


基準レート		2022/6/24	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7000	+0.0077
	JPY/CNY	4.9668	-0.0803
SHIBOR	3M	2.0000%	+0.0000%
国債利回り	10年	2.80%	+0.02%
上海総合指数		3,349.75	+32.96



(1) 概況

国際金融市場では、COVID-19からの急速な景気回復やウクライナ侵攻によるインフレ加速と急速な金融引締めが懸念される状況から、景気回復の減速とインフレの高止まりが懸念される状況への変化に対応。パウエルFRB議長がインフレに無条件で戦う姿勢を示す一方で景気後退の可能性を認め、欧米のPMIが予想を下回り、米国の消費者景況感でインフレ期待が下方修正されると、週半ばまで上昇していた長期金利が大幅な低下に転じ、株式市場も割安感から買戻しが入る展開となった。外為市場では、パウエル議長が議会でドル高容認とも思える発言をしたものの小動きに終始している。

中国金融市場は、政府が経済支援具体策を示し、特にこれまで規制強化を進めてきたIT業界について健全な発展に向けた支援姿勢を示したことから株式市場は続伸。債券市場では金融緩和期待から短期で利回りが低下する一方、米中金利差等を意識して中長期債利回りは小幅な上昇が続く、外為市場では6.70を挟んだ小幅な値動きに終始。

中国では、22日に中央全面深化改革委員会でIT企業の当局の監督下での健全発展支援を確認し、翌23日に国務院がデジタル政府建設指導意見を公表している。また、習主席は本年秋に予定される第20回共産党大会に向けた公募意見を人民民主の体現として意見の分析と吸収を指示。金融面では、中国人民銀行は外国貿易決済への新業態参入を支援し、BIS等と人民元流動性供給合意（RMBLA）に合意し、証監会は北京証取での中小企業と投資家の保護を目的とする司法保障意見やETFの中国本土と香港での相互取引に向けた広告を發布し、金融先物規則改定のパブコメ募集を開始している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元に対し、新規リバースオペ1,000億元を実施し、ネットで500億元を供給（24日に期日100億元に対して6月末越えとなるオペを600億元に増額）。また、20日にLPRの据え置き（1年3.70%、5年以上4.45%）を発表している。

(3) 主な経済指標

特になし。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.4350%	1.4350%	1.7900%	
1W	1.8500%	1.8000%	2.6000%	1.8600%
2W	1.9840%	2.0000%	2.1000%	1.8500%
1M	1.8930%	2.1000%	5.5000%	1.8500%
3M	2.0000%	4.2500%	2.6500%	1.8200%
6M	2.1380%	3.3000%	2.1500%	1.9500%
9M	2.2870%	3.5000%		2.2200%
12M	2.3640%	2.7100%		2.3100%

景気の先行き不透明感と金融政策への期待から、四半期末となる6月末が意識される状況ながら金利水準は低位で安定しており、金曜日に中国人民銀行が多めの供給を実施したことも安心感につながっている。ターム物は1ヶ月の2.10%前後での出会いを除き限定的。

NCDは、6月末（四半期末）越えの金利水準も1.8%台前半に低下しており、全期間で小幅ながら低下している。ターム物の金利水準は、1ヶ月と3ヶ月が1.8%台前半、6ヶ月が1.90%台前半、1年が2.30%前後に低下している。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	1.50%	1.51%
1W	1.60%	1.65%
1M	1.80%	1.90%
3M	1.50%	1.60%
6M	2.60%	2.80%
12M	3.10%	3.30%

パウエル議長の議会証言や欧米での先行き景況感の悪化、インフレ期待の低下等の材料はあるものの、短期中心の取引が続いており、ターム物は1ヶ月の1.8%台での出会いを除き限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.58%		1.83%	2.03%	2.21%
6M	1.76%		1.99%	2.13%	2.33%
1Y	1.97%	2.05%	2.31%	2.39%	2.59%
3Y	2.38%	2.58%	2.79%	2.87%	3.21%
5Y	2.63%	2.80%	3.10%	3.29%	3.95%
10Y	2.80%	3.10%	3.40%	3.61%	4.38%

債券市場では、米中間の金利差が拡大していることや週初にLPRが据え置かれたことを受けて弱含み（利回り上昇）となり、その後欧米の債券利回りが低下に転じ、国内でも熱波や洪水による景気への影響が懸念される状況となったが、週後半に政府の景気支援による景気回復期待が高まると利付債を中心に売り圧力が勝る展開となった。10年債利回りは2.80%に小幅に上昇（米10年国債3.13%との差は33bpに縮小）。

イールドカーブは、四半期末が迫る中で短期債の利回りが一段と低下し、中長期債利回りは下げ渋る状況となったことから、利付債を中心にスティーピングが続いた。クレジットスプレッドは、四半期末要因もあって短期では利付債の利回りが大きく低下し、中長期では利付債の利回りが上昇する一方で信用債の利回りが政府の民間企業支援への期待から小幅に低下したことから、短期では拡大し、中長期では縮小している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	5.7 / 5.9
1M	6.0 / 6.5
3M	-13.0 / -12.0
6M	-105.0 / -102.0
9M	-210.0 / -200.0
12M	-315.0 / -305.0

対ドル基準レートは6.7000と前週末比+77pipsのドル高元安、対円基準レートは4.9668と同-803pipsの円安元高と、対ドルでは6.70前後での設定が続いた。中国国内市場では、週初に中国人民銀行のLPR据え置きや海外からの株式購入資金の流入により6.68まで元高が進んだものの、その後は米中金利差や月末のドル需要からドルしっかりの展開となり、6.70を挟んだ取引が続いている。

先物は、過度の米中金利差拡大懸念が後退したこと、3ヶ月を越える期間でのマイナス幅は縮小しており、1年物も週後半には-300台前半で取引されている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.90%		1.77%
6M	2.03%	2.18%	1.86%
9M	2.10%	2.31%	1.93%
1Y	2.16%	2.40%	1.98%
3Y	2.41%	2.75%	2.03%
5Y	2.61%	3.03%	
7Y	2.75%	3.20%	
10Y	2.91%	3.37%	

スワップ金利は、中長期の債券利回りが小幅に上昇したことを受けて小幅に上昇している。また、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、四半期末要因による短期の基準金利の上昇による小幅な拡大が続いている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよく読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入